

韓国環境部プレスリリース 2020 年 3 月 1 日付

京畿道と江原道の野生いのししから ASF ウイルス検出（野生いのしし 282-290 例目）

<http://www.me.go.kr/home/web/board/read.do?pagerOffset=0&maxPageItems=10&maxIndexPages=10&searchKey=&searchValue=&menuId=286&orgCd=&boardId=1340255&boardMasterId=1&boardCategoryId=&decorator=>

□環境部所属国立環境科学院(院長チャン・ユンソク)は 2 月 28 日江原道（カンウォンド）華川郡（ファチョンゲン）華川邑（ファチョンウプ）、京畿道（キョンギド）漣川郡（ヨンチョンゲン）旺澄面（ワンジンミョン）および百鶴面（ペツカンミョン）で発見された野生いのしし死体 9 個体から ASF ウイルスが検出されたと 3 月 1 日明らかにした。

□国立環境科学院は 3 月 1 日死体 9 個体から ASF ウイルスを検出したことを関係機関に通知した。これで華川郡（ファチョンゲン）113 件、漣川郡（ヨンチョンゲン）87 件、坡州市（パジュシ）68 件、鉄原郡（チョルウォンゲン）22 件、合計 290 件の野生いのしし ASF 陽性事例となった。

○野生いのしし ASF 標準行動指針により試料採取後現場消毒と共に死体を処理した。

□国立環境科学院は「今回 ASF 陽性になった死体は全て広域フェンスの中の既存感染地域で発見され、この地域では感染死体がさらに出てくる可能性が高く、捜索を強化して死体を速かに除去する」と明らかにした。

以上